

令和5年度第1回

湯梨浜町総合教育会議

会 議 録

令和5年度第1回湯梨浜町総合教育会議 会議録

日 時 令和5年11月14日(火) 15時00分～16時42分
場 所 湯梨浜町役場 講堂
出 席 者 宮脇町長 山田教育長 市橋委員 青木委員 新委員
説明の為出席した者 山田志伸 池田豊具 上田和子 尾川伸弘 宮脇一善
川崎哲也 中村裕次朗 松本 真

1 開 会

2 町長挨拶

3 会議録署名委員の指名

4 議 題

① 中学校部活動の休日における地域移行について

② 教職員の働き方改革について

5 意見交換

① 町立小学校における児童数の推移について

6 その他

7 閉 会

令和5年度第1回湯梨浜町総合教育会議 会議録

発言者	内 容
教総課長	令和5年度第1回湯梨浜町総合教育会議を開会します。最初に町長のご挨拶をお願いします。
町長	本日は年1回の教育行政に関する会議ということで、教育委員の皆さんのご意見を伺いながら検討していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
教総課長	会議録署名委員の指名についてですが、市橋委員と青木委員でお願いします。 それでは議題ですが、まずは中学校部活動の休日における地域移行について説明をお願いします。
中村指導主事	(資料にもとづき、中学校部活動の休日における地域移行について説明)
教総課長	ただいま説明がありましたが、資料P17からP19には第1回の部活動在り方検討会の会議録があり、現状は部活動に全員加入されていますが、中学校としては部活動以外の校外活動の場があり、さらに活動の発表の場がある場合に限り部活動を免除するに加え、習い事など保護者の申し出があれば非加入で良いとの方針とされたいようです。 県内における部活動の地域移行としては、受け皿、謝金、活動場所などの問題があり進んでいない状況です。また、県の推進計画には指導者の人材バンクを構築するとありますが、こちらも進んでいない状況です。
町長	地域移行への進め方として、基本的には教育委員会が方針を示して検討会で協議していく形でしょうか。
教総課長	受け皿となりうる団体などへ協議する必要がありますが、その段階まで至っていません。まずは方向性について検討会で協議していただきながら、移行可能な部から順に進めていくこととなります。また、部活動指導員や外部指導者を中心に広げていく手法もあると思います。
町長	始期はどのように考えているのか。
教総課長	県の推進計画では改革推進期間が令和7年度末までですが、完了の期限は設けないとされています。
町長	ということは、基本的には令和8年度当初には移行していれば良いということか。
教総課長	移行できるのであれば、そういうこととなります。
町長	全員加入を改めるにしても、どの部活が実施可能かを押さえない

発言者	内 容
	<p>くでは保護者も判断できないのではないか。塾に通うためというようなことでの申し出もあるでしょうし。</p>
教総課長	<p>保護者の申し出であれば認められるのですが、そのような方針としたいということで決定事項ではないです。</p>
町長	<p>みんなのげんき館を作ったときに、各種団体に構成メンバーとなっただき組織しました。部活動の地域移行が控えていることもあり、受け皿となる団体を多くしたいという思いがありましたので活用できれば良いと思っています。</p> <p>資料にある部活動の一覧以外に、町内で活動されている種目もありますので、活用は可能かと思えます。</p> <p>経験上、中学校での部活動体験は貴重であったという意識があります。</p>
青木委員	<p>地域移行への動きは教職員の負担を減らすことを目的とされたものですので、負担を減らしてあげたいです。授業だけでも大変でしょうから、放課後の部活動は無しにしてあげたいと思います。</p> <p>ラグビーでは全国的に単独チームが出来ないので、県での統一チームというようなこともあります。例えば、中部で統一するなど広域とするように考えるべきだと思います。</p>
新委員	<p>私たちは学校生活と部活動の両輪がある環境で育ちました。心配するのは、その一つである部活動が無くなる時のバランスがどうなのかということです。受け皿があれば、まずは土日に移行していくのでしょうか、今までは両輪だったと思いますのでその点を一番心配しています。</p> <p>検討会の雰囲気としては、地域移行しましょうという感じでしょうか。</p>
教総課長	<p>できるだけ早い時期に移行するべきという意見が多かったと思います。資料の P19 にありますが、先延ばしにすることがないようにしなければならないという意見もありました。</p>
町長	<p>学校の実情を知られる方は、そうなのかもしれない。</p>
市橋委員	<p>経験上、部活動は本当に大事であり、授業における先生と生徒の関係よりも部活動の方が、生涯の繋がりが出来るぐらいの深い関係となり価値があると思っています。ただし、働き方改革もありますので、土日の移行については仕方がないことなのかと思います。よって、平日の部活動で先生と生徒の関係がど</p>

発言者	内 容
	れだけ築けるのかでしようが、流れとしては平日の部活動も移行されていくことになるものと思っています。
町長	部活動を指導されたい先生がおられれば、指導してもらうことについてはどうか。
教総課長	指導されたい先生については可能です。
町長	希望される先生については、引き続き指導していただきたい。土日の地域移行はとりあえずなのか。
教総課長	国が描いているのは完全に地域移行することですので、土日については、とりあえずとなります。 さきほどの県の人材バンクについてですが、意欲のある教職員を含めてということです。教職員だけでは人数が少ないので、消防署員や役場職員にも募集したいと県の説明がありました。
町長	対象者を多くすれば良いかもしれないが、限定した方法では難しいと思う。
教総課長	長続きしないですし、個々の負担が大きくなりますので。
町長	いずれは広域的な取り組みが必要になることも考えておかななくてはならないですね。
教育長	県の人材バンクについても、どのような方が登録されるのかにもよりますので、なかなか受け皿の問題は解決できないと思っています。 湯梨浜中学校は生徒が多く、単独チームで活動できる種目が多いのですが、生徒が少ない学校は別の学校と合同チームで活動していますので、中部地区での広域的な組織づくりを視野に入れておく必要があります。 日野郡では伝統的にソフトテニスが強いらしく、クラブチームと部活動で選択できるようですが、多くの生徒がクラブチームを選択した結果、部活動では団体戦に出場できなかったようで、県も今後の課題として仕組みを考えられるようです。 他の課題ですが、県の方針として移動手段は保護者で対応とのことですが本当に対応可能なのか。また、クラブチームであれば保護者の経済的負担が増えますし、どこの市町でも一番の課題としては指導者の確保であります。在り方検討会でも協議しながら方向性を見つけていきたいと考えています。
町長	土日に地域移行した場合、部活動はどこでするのか
教総課長	学校で良いと思いますが、合同チームなど複数の場合はどちら

発言者	内 容
	の学校であるのか、併せて移動手段の問題があります。地域移行して学校施設が空いていれば使用できますし、その際の使用料については配慮する必要があると思います。
町長	P20の資料で、町内での指導者はどうか。
	~~~~~各種目で指導されている方の氏名を確認~~~~~
教総課長	<p>複数の方であれば継続性がありますが、ピンポイントとなると難しいかと思います。</p> <p>陸上については、中部で市営陸上競技場を会場に活動しておられますので、移行が容易ではないかとの話があります。</p> <p>問題としてよく挙がるのが、吹奏楽での楽器の運搬や保管についてです。高価な楽器ですので、移動などは問題となります。</p>
町長	受け皿として、団体を育成していくことも必要でありますので、生涯学習の関係でも協力をお願いします。項目を洗い出して支援し受け皿を作ることも必要です。出来ることから少しずつ進めるようにお願いします。
教総課長	それでは、議題2の教職員の働き方改革について説明をお願いします。
中村指導主事	(資料にもとづき、教職員の働き方改革について説明)
教総課長	<p>先ほどの部活動の地域移行にも関連する教職員の働き方改革であります。資料P29のとおり町としても取り組んでおり、時間外業務の縮減と有給休暇の取得の促進を図っています。</p> <p>学校の努力もあり、時間外業務の時間数は減少傾向にありますが、資料P24では月80時間以上の方がおられることも事実であります。一番の理由としては、部活動であるとのことですので、地域移行にも関連するということになります。</p>
市橋委員	P24を見ますと泊小学校の時間外業務時間が一番少ないですし、P27の年次有給休暇の取得状況でも泊小学校は100%です。これは児童数が少ないことが影響しているのか、他に理由があるのか分からないのですがどうでしょうか。何かのヒントにならないのかと思いました。
中村指導主事	時間外業務の理由の中で一番多いのが担任業務です。泊小学校は児童が一番少ないですので、担任業務に割く時間が少なく済むのかと感じています。
新委員	教育委員会定例会の中でも以前から聞いておりましたが、80時間以上の時間外業務は過労死ラインの状況ですので、どうなの

発言者	内 容
	かと思いました。これは対策後の数字ですよ。
中村指導主事	各学校では校長からの声掛けなどをしていただいています。中学校の5月では80時間以上が5名おられますが、この時期は総体予選がありますし平日でも18時まで部活動がありますので、日々2時間程度は時間外となります。月20日として、約40時間は部活動に関する時間外であることとなります。
新委員	年次有給休暇の取得は、管理職の先生からの働きかけなどで解消しますか。
中村指導主事	町の取り組みとして年5日間の学校閉庁日を実施しているのですが、夏休み期間においては夏季特休も5日間ありますので、閉庁日に有休ではなく夏季特休を充てられる方がいるため、有休の取得に影響がでています。校長会、羽合小学校での衛生委員会の際には状況をお知らせして取得されるようお願いしています。
町長	学校統合の際に反対される方の意見として、大きな学校となれば様々な問題が生まれるとの声がありましたし、結果としては小規模校の方が若干学力も高いような傾向があります。ただし、資料にもありますが学校規模の適正化が示されていますね。
教育長	<p>学校規模については、全国一律にするのは難しい面があるようです。少子化の状況ではありますが、大きい学校とそうでない学校とあり本町でも同様であります。</p> <p>県内でも義務教育諸学校として、小中一貫校としなくては成り立たない現状があります。倉吉市では小学校の合併を進められていますし、三朝町では将来を見越して小中一貫の学校を新築すると聞いています。</p> <p>クラスの児童数が少なければ、一人あたりに同じ時間を掛けるにしても単純に事務量が少なくなります。ただし、先生方がやる気で行っているのか、又はやらされているのかでは大きな違いがあると思っています。</p> <p>また、年休5日間の取得は最低限の基準ですので、クリアしていかななくてはならないと考えています。</p>
町長	先生の働き方改革では、どのような事を町として改善すれば良いのか意見をお願いします。
松本指導主事	全県的な問題ではありますが、教職員が不足していますので適正な配置がなされにくいと思っています。

発言者	内 容
	また、先ほどの意見でもありましたが、学級規模は業務時間に大きく影響していると思います。小学校では担任が丸付けをして採点することがほとんどですので、人数が少なければ業務の負担が大きく減るのかと思います。
中村指導主事	羽合小学校の衛生委員会での意見としては、人事異動が多かったことが時間外業務に影響しているとのことでした。ただし、新しい風が吹いており、先生方は生き生きと働かれているとのことでした。
町長	教職員不足は、県が採用できていないということですか。
教総課長	そのことは県も認識されており、採用試験の時期を早められるなどの工夫をされていますが、絶対数が足りていないために適正配置が出来ていない学校があります。特に産休などでは代替もない状況があります。
町長	教育長もおっしゃられましたが、攻めの気持ちと受けの気持ちでは仕事での疲れ方が違うと思いますので、やる気を持てる環境づくりが大切であると感じました。 働き方改革については問題点を整理して、こちらからも県に要望する気持ちをもって推進していきたいと思います。
教総課長	それでは、意見交換として町立小学校における児童数の推移について説明をお願いします。
川崎課長補佐	(資料にもとづき、町立小学校における児童数の推移について説明)
教総課長	現状と将来見込みということであります。将来見込みについては社会的な動きは見込めませんので、出生数からとなります。それと P34 の学級編成基準ですが、今年度における県基準としては1から4学年が30人学級、5から6学年が35人学級です。町では5から6学年を33人学級としています。 P36には考えられる対応としまして、4案お示ししていますので現状及び将来見込みを踏まえて、ご意見をいただければと思います。
町長	校区の再編をすることは難しいですね。泊小の児童数が一番少ないのですが、東郷と羽合の隣接する地区を入れても解決策としては現実的ではないです。効果があるのは特定地域選択制を活用する方法かと思います。
市橋委員	私もそのように思います。校区を再編することは様々な問題が

発言者	内 容
	<p>あるでしょうし、既に泊小への特定地域選択制がありますので、その制度を拡大していくことが現実的であると思います。</p>
<p>新委員</p>	<p>対応案の中で東郷小と泊小の魅力化とありますが、現状でも魅力があると思います。制度を活用できるのであれば、泊小学校に通学させたいと思っています。グラウンドには天然芝がありますし、イノシシ対策として柵があることも素晴らしいと感じています。東郷小では梨を主として様々に展開されていますので既に魅力があると思います。</p> <p>ただし、選択制を活用する中で子ども会の機能が薄れていくのではないかと感じていますので、どのようにクリアするのが課題であると思います。</p> <p>それと羽合小から泊小への選択制は、羽合地域だけの問題と捉えられるため、羽合小から東郷小への選択制も含め町全体としての取り組みとするべきだと思います。</p>
<p>青木委員</p>	<p>児童の推移を見ますと令和11年度の羽合小は現状よりも増加しますので、東郷小と泊小へ選択できるよう推進していただければと思います。</p> <p>児童数が少ないことで先生の日も行き届きますし、学力の向上に繋がることをPRしてはどうかと思います。</p> <p>羽合小から東郷小への選択についてもスクールバスでの通学ですので、そのあたりをPRすれば良いと思います。</p> <p>以前より考えていたこととして、泊小では英語を特区として打ち出してはどうかと、他の学校でも要望されれば特区であるので泊小へ通学していただくような方法でなければいけないと思っています。</p>
<p>教育長</p>	<p>魅力化は必要であると思います。これからの教育を考えますと子ども達がお互いに協力しながら、一つずつ解決していくような環境だと思っています。覚えていくことだけでは、機械に勝てませんので、切磋琢磨しながら答えを導いていくことが大きな教育の方向性であると考えています。</p> <p>この学校に行けばこのような力が子どもにつきますということが大事ですので、それぞれの学校における魅力化については学校と協議していくことが必要であると思います。</p>
<p>市橋委員</p>	<p>選択制拡大、魅力化などについての協議会、検討会については考えておられますか。</p>

令和5年度第1回湯梨浜町総合教育会議 会議録

発言者	内 容
町長	現時点では考えていません。
教総課長	貴重なご意見ありがとうございました。これで本日の会は終了したいと思います。皆さんありがとうございました。
午後4時42分終了	

上記会議の経過を記してその相違なきことを証明するため署名する。

署名委員 _____

署名委員 _____

会議録調製者 _____